

留 学 報 告 書

記入日:2013年9月29日



所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部政治学科		
留学先国	中華人民共和国		
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	華東師範大学 华东师范大学		
留学期間	2012年8月～2013年7月		
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)		
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)		
留学先での所属学部等	前期:対外漢語学院 後期:人文社会科学学院政治系 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。		
帰国年月日	2013年7月23日		
明治大学卒業予定年	2015年3月		
留 学 先 大 学 に つ い て			
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他		
学年暦	1 学期:9月上旬～1月上旬 2 学期:2月下旬～7月上旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬,2学期:9月中旬～2月上旬)		
学生数	25,000人		
創立年	1951年		
留学費用項目	現地通貨(元)	円	備考
授業料	18,000	270,000円	協定校留学だったので免除
宿舍費	10,400元	160,000円	40元/日
食費	9,000元	135,000円	
図書費	200元	3,000円	
学用品費	300元	4,500円	
教養娯楽費	1,500元	22,500円	
被服費	400元	6,000円	
医療費	0	0円	全て日本で加入した保険でまかなった
保険費	300元	4,500円	中国政府の外国人留学生向けの保険
渡航旅費		100,000円	一時帰国を含む
雑費	5,000元	75,000円	生活用品等
その他	100元	1,500円	光熱費
その他	5,000元	75,000円	交通費
その他		115,000円	保険料(渡航前に日本で加入したもの)
合計	32,200元	778,000円	授業料は加算せず、保険料(日本)と渡航旅費は円にのみ加算。 1元=15円で換算

渡航関連

渡航経路: 羽田—上海(虹橋)	
渡航費用	
チケットの種類	fix
往路	40000 円
復路	40000 円
合計	80000 円
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
特になし	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
大学の宿舎	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1)	
3)住居を探した方法:	
校内にある宿舎担当の事務室に行った。	
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
宿舎の種類はいくつかあるが、二人部屋、バス・トイレ共同のものがメイン。1部屋にルームメイトと2人で住むのだが、事前に予約し、倍の料金を払って1人で住んでいる人もいた。広さは、荷物の多さによっては狭く感じるかもしれない。どの寮も比較的清潔で、自分で工夫しながら生活すれば特に不便はない。	

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
<input type="checkbox"/> 利用する機会が無かった	
<input checked="" type="checkbox"/> 利用した: 大学内の病院に行ったが、内科しかない上、中国政府の奨学金生以外の留学生に対しては割引がなかった。上海には日本人向けの病院もたくさんあり、キャンパスからも近かったので、よく利用した。	
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
相談窓口はなかったが、留学生担当事務室に相談していた。	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
現地に長くいる留学生や中国人の友人から情報を得ていた。防犯対策としては、夜遅くは出歩かないこと、人気のない場所は避けるなど基本的なことから、違法営業のタクシーや店は利用しないようにした。犯罪に巻き込まれたことはなかった。	
4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。	
(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
中山北路キャンパスの寮は、基本的に着いたその日か翌日には無料でネットが通じたが、速度は遅いし接続も不安定で、たびたび繋がらなくなった。なので個人的に早い回線を契約してる人もいた。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
渡航後に、家族に頼んで中国でも引き下ろせる口座を作ってもらった。	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
書籍。中国では外国の書籍はネットショッピングも含めあまり扱ってないので、必要な参考書や教科書などはあらかじめ持って行ったほうがいい。その他は、ほとんど現地でも調達できる。	

進路について

1) 進路 <input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。 留学中、進路について心配することもあると思うが、就職するにしろ進学するにしろ、留学中は留学先でしかできないことを最優先で行動した方がいい。それが将来の進路に生きていくと思う。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 <input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: 卒業までに単位が十分に取得できそうのため)
10 単位	
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
听力	リスニング(中国語)
科目設置学部・研究科	対外漢語学院
履修期間	2012 年9月~2013 年1月
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 3 回
担当教授	王彦
授業内容	中国語のリスニング力を高める授業。一クラス 20 人前後で、レベル分けされている。下記の口語、阅读もこのクラスで行う。教科書の内容は、中国語の自然な会話表現やHSKを意識した問題が多い。ほぼ毎週宿題が出る。
試験・課題など	中間テストと期末テストがある。課題はこれと言ってなかったが、レベルの高いクラスになれば多くなると思われる。
感想を自由記入	新人の先生だったが教え方がとても丁寧だったし、質問しやすい雰囲気だった。日本の中国語教材では出てこないような表現が多かったため、中国で中国語を学ぶ意味を実感することができた。ただ、8時半開始とあって、遅刻する人や授業中に寝てしまう人もいたので、つられないようにするのが大変だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
口語		スピーキング(中国語)	
科目設置学部・研究科	対外漢語学院		
履修期間	2012年9月～2013年1月		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が3回		
担当教授	王彦		
授業内容	中国語のスピーキング力を高める授業。教科書は、中国語の会話表現や中国文化を紹介する内容が多く、それに則した短い作文づくりやその発表を授業中にする。2, 3人のグループで活動することもある。宿題も毎週出る。また、その日の授業のテーマに沿ってクラスメイトたちが各国の状況を発表することもある。		
試験・課題など	中間テストと期末テストがある。課題はパワーポイントを使っての出身地紹介をした。		
感想を自由記入	自然な会話表現を学べるので授業を受けた後すぐに実践でき、身に着くのも早かった。また、中国語だけでなく、中国文化や他のクラスメイト達の国のことを知ることができて面白かった。ただ自分から発言、発表しないと機会が回ってこないで、積極的に授業に参加することが大切。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
阅读		リーディング(中国語)	
科目設置学部・研究科	対外漢語学院		
履修期間	2012年9月～2013年1月		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が3回		
担当教授	朱曉琳		
授業内容	中国語のリーディングの授業。教科書の長文を読んで文法事項や単語、熟語などを学ぶ。その日の文章のテーマに沿ってクラスメイト達と各国の状況について発表し合うこともある。		
試験・課題など	試験は、中間テストと期末テストがある。課題は毎週10個前後の新出単語を使った例文づくりをした。		
感想を自由記入	経験豊富な先生で、授業のテーマ以外にも、中国についての様々なことを話してくれたので大変勉強になった。試験は漢字が読める日本人には有利だと思う。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
国际政治		国際政治	
科目設置学部・研究科	人文社会科学学院政治系		
履修期間	2013年2月～7月		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	張麗君		
授業内容	国際政治学の理論を学ぶ。1クラス50人ほど。私以外に留学生はいなかった。教科書等はなく、先生がパワーポイントを使って講義する。ときどき近くに座ってる人同士で簡単な討論などしたり、学生が発表したりする。		
試験・課題など	試験は期末テストのみで、どんな資料も持ち込み可だった。テスト時には、本来は留学生は紙の辞書しか持ち込んではいけないのだが、インターネット機能が付いてないということで特別に電子辞書の持ち込みを許可してもらった。課題は学期の中間あたりにレポートがあった。テーマは「イランの国家イメージ」で、字数は3000字だった。		
感想を自由記入	最初は何とか授業中は聞き取る、読み取ることに必死で、授業が終わった後はとても疲れた。授業の内容にはとても興味があったので、完璧に聞き取れたらもっと面白んだろうないつも歯がゆい思いをした。授業終了後、先生が使ったパワーポイントをコピーすることができたが、大事なことは口頭でしか言われない上、ボイスレコーダーは許可されなかったので、リスニング力がとても重要だった。		

履修した授業科目名(大学言語):		履修留学先した授業科目名(日本語):
中国政治分析		中国政治分析
科目設置学部・研究科	人文社会科学学院政治系	
履修期間	2013年2月～7月	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義と共同論文の作成(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に90分が1回	
担当教授	王向民	
授業内容	クラスを1つ7, 8人の班に分けて、政府の危機管理についての論文を共同で書く。具体的には、伝染病発生後の政府の対応、対策など。先生の講義では論文作成方法について、資料の集め方、文章の構成などを説明する。	
試験・課題など	試験は期末試験のみで、資料の持ち込み可だった。特別に電子辞書の持ち込みを許可してもらった。課題は共同論文の提出が中間と期末で2回あった。	
感想を自由記入	共同論文がこの授業のメインだったが、私は同じ班の学生たちの話し合いについていけなかったため、論文の作成にはほとんど参加させてもらえず、悔しかった。先生の講義の時だけ授業に出ていたが、先生は親切で、試験のときに資料をくれたり、試験時間を延長してくれたりと配慮してくれたので助かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
東アジア政治		東アジア政治
科目設置学部・研究科	人文社会科学学院政治系	
履修期間	2013年2月～7月	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に90分が1回	
担当教授	叶淑兰	
授業内容	東アジアの諸問題について、政治、経済、地理、歴史など様々な観点から観察する。	
試験・課題など	試験は期末試験のみ。課題は討論発表で、1クラスを7,8人ずつに分けた班が、それぞれ先生が提示したテーマについて討論する。	
感想を自由記入	先生は留学生に理解もあり、知識も豊富でとても面白い授業だった。討論の際、私の班が担当したテーマは尖閣諸島問題で、当日はとても緊張したし、準備もとても大変だったが、クラスのみんな温かく聞いてくれてよかった。いい経験になった。	

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2012年 1月～3月	学内選考(面接)、ビザ取得のため健康診断、留学先大学へ願書提出等 中国語の学習、学内選考の面接の練習など
4月～7月	奨学金の申請、ビザの取得 中国語検定(2級)受験
8月～9月	出発、授業開始(語学)
10月～12月	旅行(学校の行事)、中間テスト
2013年 1月～3月	期末テスト、冬休み、授業開始(専門)
4月～7月	期末テスト、帰国
8月～9月	授業開始(明治)